追検査

令和六年度　採点の手引（国語）その1

（注意）
・採点に際しては、「採点上の注意」とともに、資料文や設問を十分検討すること。
・問題5（作文）については、「評価の観点」及び「採点上の注意」に基づき、細部の採点基準を作成して採点すること。

問題	正答	配点	採点上の注意
1 問1	ウ	4	
1 問2	ア	4	
1 問3（例）	紗枝との動きが合わず いらいらしたり、思わず嫌な顔をしたりして 険悪なムードにした	6	○内容・表現に応じて、部分点を認める。
1 問4（例）	コーチの要求に食らいつこうとしている一方で、茜が怪我を克服しては上がろうとして	7	○内容・表現に応じて、部分点を認める。 ○「怪我」「要求」のうち、いずれか一語しか使われていない場合は4点を減じ、二語とも使われていない場合は、点を与えない。
1 問5	（ア）と（エ） いない	5	
2 問1 (1)	へいおん	2	○著しく字形の乱れているものには、点を与えない。
2 問1 (2)	しゅういつ	2	
2 問1 (3)	とぼ（しい）	2	
2 問1 (4)	根幹	2	
2 問1 (5)	浴（びる）	2	
2 問2	エ	3	
2 問3	イ	3	
2 問4 (1)	ア	2	
2 問4 (2)（例）	地域に貢献する活動	3	○内容・表現に応じて、部分点を認める。
2 問4 (3)	エ	3	
3 問1	エ	4	
3 問2（例）	行為をした人のあり方が基準であり、特定の振る舞い方として外形的に特定できない	7	○内容・表現に応じて、部分点を認める。 ○「あり方」「外形的」のうち、いずれか一語しか使われていない場合は4点を減じ、二語とも使われていない場合は、点を与えない。
3 問3	ウ	4	
3 問4	イ	4	
3 問5（例）	どのような行為が幸福に貢献するかを意識しなくても、倫理的なビジョンの全体が関係した思慮がはたらく	7	○内容・表現に応じて、部分点を認める。 ○「全体」「意識」のうち、いずれか一語しか使われていない場合は4点を減じ、二語とも使われていない場合は、点を与えない。
4 問1	イ	3	
4 問2	いうにてはべり	3	
4 問3	ウ	3	
4 問4	心の欠けた	3	
1		26	
2		24	
3		26	
4		12	

追検査

令和六年度　採点の手引（国語）その２

問題	評価の観点	配点	採点上の注意
5	1　課題と関連する内容 ○資料から読み取ったことをもとにして自分の考えが書かれているか。 ○自分の体験をふまえて書かれているか。	12	○採点は「評価の観点」に従い、12点からの減点法で行う。 ○資料から読み取ったことをもとにして自分の考えが書かれていなければ、6点を減ずる。 ○自分の体験（見たこと聞いたことなども含む）をふまえて書かれていなければ、6点を減ずる。
	2　文　章 ○文章としてまとまっているか。また、段落や構成に注意して書かれているか。 ○指示された文章の長さであるか。 ○文脈（主・述の照応など）、用語などに不適切なところはないか。		○二段落構成で書かれていなければ、4点を減ずる。 ○二段落構成で書かれているが、第一段落に、資料から読み取った内容が書かれていなければ、2点を減ずる。また、第二段落に、第一段落の内容と関連して自分の体験をふまえて考えが書かれていなければ、2点を減ずる。 ○内容の程度に応じて、1～6点を減ずる。 ○不適切な程度に応じて、1～6点を減ずる。
	3　表　記 ○文字・語句・くぎり符号・仮名遣いなどの表記上の誤りや不適切なところはないか。 ○原稿用紙の正しい使い方に従っているか。		○誤りや不適切なところの多少に応じて、1～4点を減ずる。
配点合計		100	